

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 08地域振興課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	2605	事務事業コード	0834
事務事業名	地域の活力再生事業			開始年度	平成26	終了年度	未定	
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	佐渡市地域おこし協力隊設置要綱 佐渡市地域活動支援員設置要綱		
将来ビジョン	4. 安全・安心な地域づくり (3)過疎化に対応した地域づくり					H25: 重点●政策○	-	
H26施政方針	3. 高齢者・障がい者等福祉対策 (3)過疎化に対応した地域づくり					H26: 重点●政策○	-	
H27施政方針	1. 人口減少対策 (3)特色ある地域づくり ① 自主的組織化の推進					H27: 重点●政策○	●	
事業概要	地域おこし協力隊や地域活動支援員が地域住民と行政とのつなぎ役となり、地域の課題解決のための支援窓口として支所・サービスセンターの職員が直接関わるにより、住民主体の地域づくり活動等の推進を支援する。 地域おこし協力隊 16人(小倉地区、高千・外海府地区、岩首地区、海府地区、水津地区、赤泊地区、笹川・西三川地区、羽茂地区、松ヶ崎地区、小木・宿根木地区、新穂地区、両津、金井、外海府、七浦・二見、河原田) 地域活動支援員 7人(達者地区、羽茂地区、小木地区、赤泊地区、七浦地区、豊岡地区、松ヶ崎地区)							
対象	地域活動が低下した地区、地域づくり活動を行いたい地区							
意図(対象をどのようにしたいか)	地域コミュニティや集落行事等の維持・活性化や地域の課題解決を図り、地域活力の維持、向上に繋げる。							

Do

◆将来ビジョン成長力強化戦略指標◆

項目名	戦略指標	H24現状	H31目標
過疎化に対応した地域づくり	元気な地域づくり活動支援件数	—	50件/年

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	地域おこし協力隊事業	人	11	16	16	19	20	20
算式	-							
	地域活動支援員事業	人	8	10	7	12	12	12
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名		H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性		
1	地域おこし協力隊事業		0	42,364		62,852	予算 増額	増額	◎
	指標	隊員(個人)採用人数	11	16	16	19			
2	地域活動支援員事業		1,652	281		1,400	予算 維持	維持	○
	指標	支援員(個人)委託人数	8	10	7	12			
3	地域支援組織・人材育成事業		1,197	0		600	予算 維持	維持	
	指標	勉強会等開催回数	6	6	0	1			
事業費の合計(千円)			2,849	42,645		64,852			
財源内訳			国庫支出金	0		0			
			県支出金	0		0			
			地方債	0		0			
			その他	0		0			
			一般財源	2,849		42,645	64,852		

Check

◆事務事業を構成する細事業の評価◆

A : 適正である B : 検討の余地あり C : 見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	地域おこし協力隊事業	A	A	A	人材を確保することに苦慮している。募集方法に工夫が必要。また任期満了後の定住を目的としているため、就業の道筋を付ける方が必要。
2	地域活動支援員事業	B	B	C	委託地域によって活動に差がある。方向性を指示し、地域支援員間の連携を図ることで、成果向上が見込める。
3	地域支援組織・人材育成事業	B	C	B	地域づくりの機運醸成を希望する地区でのワークショップを開予定であったが、実現できなかった。地域の自力をつけ、モデル地区をつくるためにも開催は必要。

Action

◆今後の事務事業の方向性◆

評価(担当課長)	事業の方向性	拡充	予算の方向性	増額
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策 など)	地域の賑わいを創出し、地域住民主体の地域づくりの機運を醸成するため、各支所・行政サービスセンターを中心に、地域おこし協力隊と地域活動支援員が協働する。また、各地の芸能(鬼太鼓)をキーワードに大学交流等外部の力を利用して、モデル地区を選定する。			